

第1 学校教育相談推進校事業について

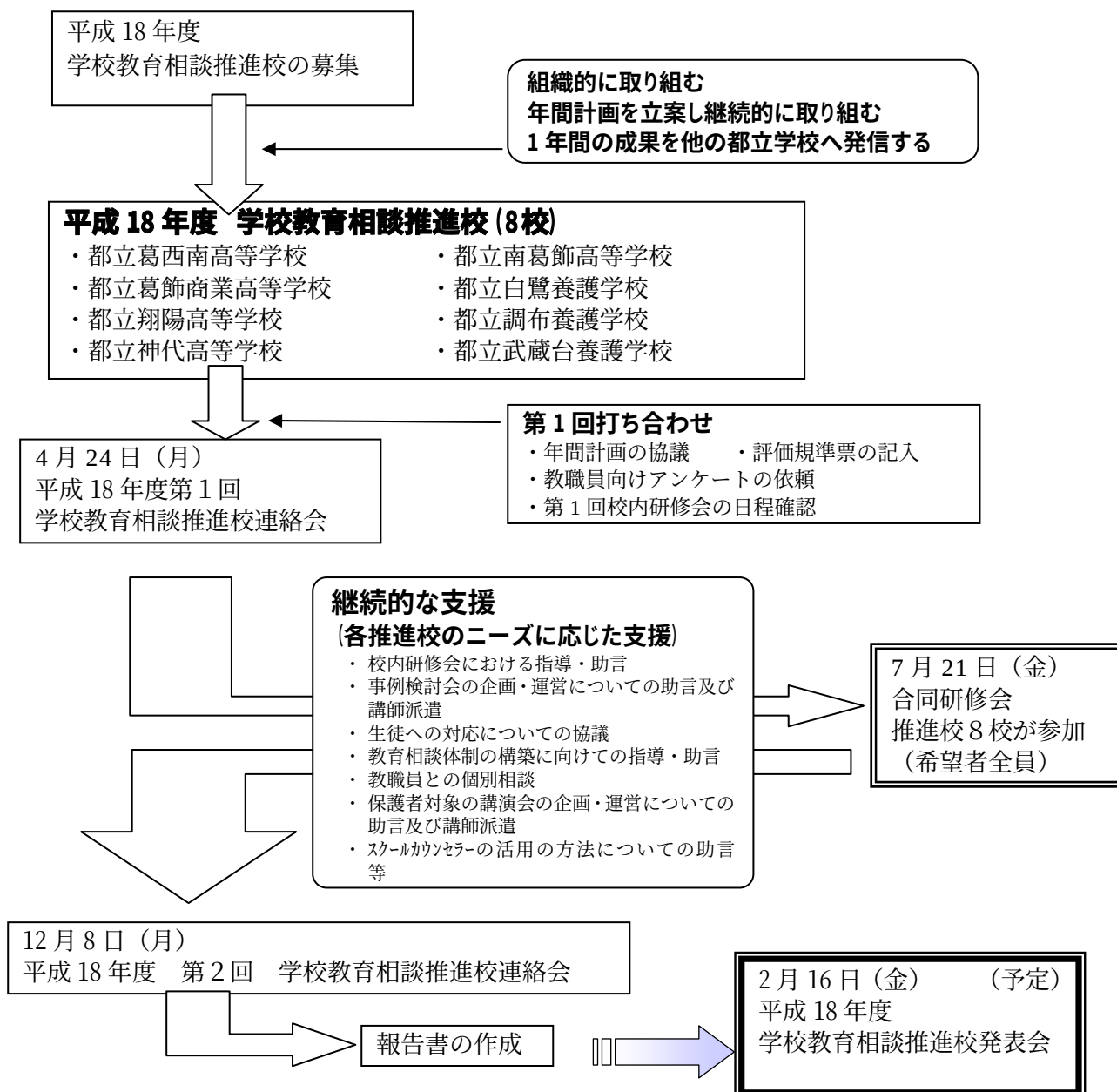
1 事業の目的

本事業は、各都立学校における教職員の教育相談の資質の向上及び学校の教育相談体制の構築に資する事業である。

長期欠席、中途退学、怠学、反抗、友人関係、発達障害及び自傷行為等の生徒の課題解決のために、主体的に取り組む学校に対して、当センターが1年間を通して教育相談的な立場からの支援を行い、その成果を他の都立学校に発信するものである。

2 事業の内容

- (1) 都立学校の教育相談機能の充実を図るため、指導主事と心理職が担当となり、1年間を通して学校教育相談の視点で支援を行う。
- (2) 長期欠席、中途退学、怠学、反抗、友人関係、発達障害及び自傷行為等の生徒の課題に主体的に取り組もうとする学校で、希望する学校の中から学校教育相談推進校に指定する。
- (3) 各推進校の教育相談に関わる課題を明確にし、年間の目標及び計画を学校と協議して定め、学校が主体的に取り組めるよう支援する。
- (4) 推進校の成果を報告書としてまとめ、他の都立学校に発信することにより、学校教育相談の必要性を広く都立学校の管理職及び教職員に周知し、教職員の資質の向上を図る。



3 具体的な支援内容

- (1) 校内研修会における指導・助言（問題行動の理解、教育相談をいかした授業、保護者への対応、学習意欲の向上、生徒への対応、専門機関との連携等学校教育相談にかかわること）
- (2) 事例検討会の企画・運営についての助言及び講師派遣
- (3) 生徒への対応についての協議（関係教職員または学年単位等）
- (4) 教育相談体制の構築に向けての指導・助言
- (5) 教職員との個別相談
- (6) 保護者対象の講演会の企画・運営についての助言及び講師派遣
- (7) その他

第2 平成18年度学校教育相談推進校事業 取組内容

1 第1回学校教育相談推進校連絡会

- (1) 日時 平成18年4月24日（月）午後2時から4時30分
- (2) 会場 東京都教育相談センター
- (3) 内容
 - ア 学校教育相談推進事業の趣旨説明
 - イ 「今年度推進校として取り組みたい内容」・・・学校教育相談推進校からの説明
 - ウ 「学校教育相談の推進に向けた取組」・・・昨年度推進校からの実践報告
 - (ア) 学校名：東京都立六本木高等学校
 - (イ) 推進の目標：「教育相談体制の基礎固めの構築」
 - (ウ) 具体的な方策
 - ・ スクールカウンセラーも含めた校務分掌への「相談部」の設置
 - ・ 全教職員による相談体制の基礎作り
 - ・ 校内研修の充実 他
 - (エ) 取組の内容
 - ・ 相談体制の在り方について
 - ・ 学校教育相談とは何か
 - ・ 事例検討
 - ・ 配慮を要する生徒の情報交換 他
 - エ 東京都教育相談センターの支援について

2 第1回校内研修

- (1) 日時 平成18年4月～6月（各推進校の状況に応じて）
- (2) 会場 各推進校
- (3) 内容 （P36 資料1参照）
 - ア 学校教育相談の理解
 - イ 児童・生徒理解
 - ウ かかわり方の基本（カウンセリングマインド）
 - エ 学校教育相談の実際と東京都教育相談センターの支援について

3 合同研修会

- (1) 日時 平成18年7月21日（金） 午前9時30分から午後5時
- (2) 会場 都立武蔵台養護学校
- (3) 参加人数 47人
- (4) 内容
 - ＜午前＞ 講師：東京都教育相談センター所員
 - ア 「授業等にいかす学校教育相談」
 - (ア) 構成的グループエンカウンター＜講義・演習＞
 - ・ 学校での人間関係づくりの重要性

- ・ 演習 ＊参加者全員がエクササイズを体験した。
- (イ) 授業にいかす学校教育相談＜講義＞ (P 3 8 資料2 参照)
 - ・ 授業に基づいたルールとリレーションの確立
 - ・ 子どもの立場に立った支援の在り方チェックシート
- イ 「ロールプレイングの意義と進め方」＜講義＞ (P 3 9 資料3 参照)
 - (ア) ロールプレイングの意義とねらい
 - (イ) ロールプレイングの進め方
- ウ 質疑・応答
 - ＜午後＞ 講師：専門家アドバイザースタッフ及び東京都教育相談センター所員
- エ 「ロールプレイング演習」＜演習＞
 - 午前の「ロールプレイングの意義と進め方」を受け、全参加者が8グループに分かれて、ロールプレイングを体験した。
- オ 全体会
 - (ア) センター担当からの今後の予定についての説明
 - (イ) 質疑応答
- カ ブロック会
 - 各ブロックごとに、進捗状況・今後の計画等について情報交換をした。
 - (ア) Aブロック：葛西南、葛飾商業、翔陽、神代、南葛飾
 - (イ) Bブロック：白鷺養護、調布養護、武蔵台養護

合同研修会 参加者アンケート

＜主な感想＞

- ① 「授業等にいかす学校教育相談」について
 - 日常的に自分の実践を振り返る必要性を感じた。
 - 生徒理解は授業の基本であると感じた。
 - 授業等で学校教育相談を活用しようと思った。
 - 現在の子どもの様子を踏まえた説明がよかった。
- ② 「ロールプレイングの意義と進め方」について
 - 自己理解に大きな意味があると思った。
 - 正解を出すものではないということで、安心して午後の演習ができた。
 - ロールプレイングの意義や目的がよく分かった。
 - 自分の演じ方が自分の癖を知る手がかりになるということが参考になった。
- ③ ロールプレイング演習について
 - 気付かないでいた相手の気持ちに触れた思いがした。
 - 初めてで新鮮であった。生徒の考えを改めて考える機会になった。
 - 普段気にしない相手の事情や自分の欠点が分かり、興味深かった。
 - 経験してよかった。自己理解・他者理解できるものだと実感できた。

4 第2回学校教育相談推進校連絡会

- (1) 日時 平成18年12月8日(月) 午後2時から4時30分
- (2) 会場 東京都教育相談センター
- (3) 内容
 - ア 各推進校の報告
 - (ア) 今年1年の成果と課題等
 - イ 各学校打合せ

5 学校教育相談推進校発表会

- (1) 日時 平成19年2月16日(金) (予定)
- (2) 会場 東京都立武蔵台養護学校
- (3) 内容
 - ア 各推進校の発表
 - イ 学校教育相談推進事業とは